



平成28年1月26日 編集: 区議会だより編集委員会

発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1

☎ 3264-2111 内線3315 ファクシミリ 3288-5920



新年のごあいさつ 千代田区議会議長 戸張 孝次郎



新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成28年の新春を迎え、千代田区 議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。 区民をはじめ区政関係者の皆様には、日頃より 区政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼 を申し上げます。

少子高齢社会を迎え、区政では、地域コミュニティの活性化、 子育てや高齢者施策の充実等多くの課題がございます。

区議会といたしましては、区政の抱える課題解決を図り、「安 全で安心して暮らし続けられるまち千代田| の実現に向け、執 行機関と連携を図り全力を尽くしてま いりますので、相変わらぬご支援・ご

協力を賜りますようお願い申し上げま す。

本年が、皆様にとって幸せに満ち溢 れた明るい一年となりますことを、心 からお祈り申し上げまして、新年のご 挨拶といたします。





千代田区議会議員

トップニュース

Top News

「個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」 「住宅基本条例の一部を改正する条例」 等を可決!

■千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、区が必要な限 度で独自に行う個人番号の利用に関する事務及び特定個人情報の庁内連携や区機関相互における提供に関す る事務を条例で定めました。平成28年1月1日から施行します。

■千代田区住宅基本条例の一部を改正する条例について

区民の住まいや住環境に求める機能及び役割の多様化に対応し、地域特性に即した施策を総合的かつ計画的に展開してい くため、条例を改正しました。公布の日から施行します。

主な内容

- ●代表質問 ………………… 2 ~ 3 面
- ●一般質問 ……………… 4 ~ 5 面
- ●定例区議会活動報告等 …… 6 ~ 9 面
- ●議案の審議結果等 ………10 面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・ 条例 ………………8 件
- 契約等 ………3 件
- ・報告 ·················2 件

- ◆委員会提出議案
 - ・意見書 ……………………… 件
- ◆議員提出議案
 - 決議、意見書 ………3件



●ホームページアドレス

●メールアドレス

http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を 掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。



平成28年第1回定例区議会は、 2月17日(予定)から開会します。

代表質問 舞

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

内田 直之

社会的包容力のあるまちづくり

- 問 豊かな地域社会や共生社会を実現する中で、人々が何らかの理由により排除されることがない社会的な努力である「社会的包容力」を持ったまちづくりが、千代田区にも必要である。
- 答 ユニバーサル社会の実現を目指す 区にとって、「社会的包容力」を持った まちづくりは極めて重要な視点であ る。共生の理念と相通じるものであり、 鋭意取り組んで行く。

外濠公園グラウンドの人工芝化

- 問 芝生の養生や天候の影響等により、 利用できない日が年間で150日もある。人工芝化により利用日数を拡大するとともに、区民ニーズに沿った多目的 運動施設として整備する事を提案する。
- 管 指摘通りの実態である。区民の利便性の向上を図るべく、多目的利用や 人工芝化の実現に向けて関係団体との 協議を積極的に進める。

無料Wi-Fiの整備

- 問 外国人旅行者の利便性向上や地域・観光情報の発信、災害時の情報共有のため、区内の無料Wi-Fi環境の現状を把握し、整備を早急に進めるべき。
- 審 無料Wi-Fiスポットを年内に本庁舎 とかがやきプラザに設置し、一部施設 も年度内には設置する。平成28年度の 本格的な整備に向けて、検討している。



新しい千代田

はやお 恭一

人口推計の見直し

- 間 ①根拠とする将来人口推計が計画によって異なっていることをどのように考え、開発インパクトを加味した結果をどのように捉えているか②当初計画での将来人口推計と乖離している現状を踏まえ、最上位計画である「みらいプロジェクト」を見直す必要性は。
- ②推計方法は2種類あり、推計値の違いが施策の方向性に影響する懸念はない。開発インパクトの加味は状況変化への対応②目標が大きく変わらない限り、見直しに直結しない。

高齢者サポートセンターの機能

- ①基本構想時の訪問診療・訪問看護の機能が完成時に無くなっている経緯は②24時間365日対応の相談機能について、病院との連携のあり方と課題は。
- 管 ①関係機関の意見により開設時の 実施は見送った。今後の需要により実 施②病院の地域医療連携室と情報共有 し、医療的支援は病院スタッフが行う。 地域の在宅医療・介護資源も活用する。

総合教育会議

- 問 ①法改正により創設された総合教育会議の課題と進捗状況は②「迅速に対応すべき重要事項」の選定基準は。
- ② ①教育大綱の策定が最大の課題。年度末までの策定を目指す②児童・生徒の生命身体の保護等への緊急措置等。



日本共産党区議団

木村 正明

国の社会保障制度改革について

- 問 国の改革は、社会保障全般に給付減と負担増が及ぶ。区長の見解は。
- さまは必要である。しかし、低所 得者等に過重な負担が生じるならば、 区独自の策を講じる。

住宅基本条例「改正」について

- 問 改正における次の課題について問う①中堅所得者層向けの住宅制度廃止の理由は②区が区営住宅の入居所得基準を引き下げた結果、収入超過となった居住者への対応は。
- * ①施策の比重を所得ではなく、高齢者や障害者等に移行したため②各居住者の状況に応じ対応していく。

特別職報酬等審議会と政務活動費

- 回 ①区長の附属機関である審議会から政務活動費の一部を報酬に組み込む考えが出された。議員の調査活動のための調査経費である政務活動費と報酬は全く性格が異なるものであり、この考えには反対である。見解は②政務活動費の額の変更は、条例で議長の諮問機関に諮り決定し、区長に通知することになっている。双方の機関で異なる答申が出た場合の対応は。
- * ①審議途中であり、内容について コメントする状況にない②答申が出さ れた際には、十分議会と意見交換し対 応していく。



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小林 たかや

推計人口の見直しと計画変更

- 問 区の最上位計画と下位計画の推計 人口が異なっており、保育園・幼稚園 整備等の予算にも影響がでている。そ れぞれの計画を変更すべき。
- 答 毎年の予算編成で事務事業を組み 替えるのが基本的な考えである。その ため、最上位計画の変更は考えていな いが下位の計画は適切に見直す。

待機児童対策について

- 間 厚生労働省基準による待機児童数 は実態との隔たりがあり、入園希望者 の誤解を招きかねない。実態に即した 区独自の人数を発表すべき。
- 答 保育の実情を正確に周知すること は重要と認識している。今後とも全て の情報を開示していく。

喫煙対策と芳林公園喫煙所

- 間 ①たばこ税の納税額39億円に対 し、対策が不十分。積極的に取り組み を②新たに道路や公共トイレ等に喫煙 所を設置する構想は③芳林公園に密閉 型の新喫煙所が設置されるが、改修に より新たな喫煙者を呼び寄せるのでは。
- ⑤ ①たばこ対策関連費用は、必要に 応じ予算計上する②道路、公共トイレ に設置はしない。公園周辺も含めた屋 内喫煙所を整備③設置後も指導員の集 中警戒や、警備員を常駐させ喫煙者を 分散させる。



公明党議員団

大串 ひろやす

健康長寿のまち千代田へ!

- 間 「健康長寿のまち千代田」を目指 していきたい。健康を規定する要因は、 医療システム10%、生活習慣ないし行 動様式40%、環境要因20%、人間遺伝 学的要因20%である。よって、過度 に医療に依存せず、生活習慣又は環境 整備による予防型の仕組みが大事であ る①健康施策推進の基本的な考え方は ②予防の観点からは、単に病気の治療 にとどまらず、地域住民と一緒になっ て予防や健康増進に取り組む地域医療 が必要だが、どう取り組むのか③環境 要因からの予防として、高齢者の住ま いや歩いて行ける範囲ごとに、小規模 な高齢者施設を計画的に整備しては。
- (音) ①「健康な生活を営むことができ るまち」を理念として、「健康千代田 21」を策定。健康的な生活習慣及び 予防のための環境づくりを柱に、さま ざまな健康施策を推進していく。かが やきプラザは、医療と介護の拠点とと もに、健康づくりの拠点とし、「健康 長寿のまち千代田」を目指していく② 地域医療とは、治療にとどまることな く、予防や健康増進を含めて広く捉え ることが重要。九段坂病院の医師が高 齢者活動センターの嘱託医を務め、介 護予防や健康増進等、区民と一緒に地 域医療を推進していく③高齢者の予防 活動へのアクセスが最も重要。区民に 身近な地域で事業を実施し、参加でき る仕掛けを工夫していく。

健康を規定する要因

- ①医療
- 10%
- ②生活習慣や行動要因 50%
- ③環境要因
- 20%
- 4人間遺伝学的要因
 - 20%

『ラロンドレポート』より













一般質問(要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮一 (自民)

皇居周辺環境整備について

- 問 東京五輪開催に向けて、代官町通りをシンボルロードとして整備し、千島ヶ淵との回遊性を持たせてはどうか。
- 圏望や文化資源の整備等、個性ある景観創出に努め、回遊性向上を図る。

国際教育について

- 問 英語教育、国際交流以前に、母国語、自国の文化を大切にして発信できるような教育が必要ではないか。



代官町通り高射砲台座

飯島 和子

(共産)

学校における主権者教育

- 問 ①憲法や平和等の現実課題を取り上げることへの見解は②18歳以上の生徒の政治活動に関する文科省新通知への見解は③請願提出等の実践も有効では④子どもの意見表明権を保障し、主権者教育を推進することが必要。
- ①自己判断で権利を行使できるよう指導が必要②政治的中立性等の観点から制限等は必要③研究する④自ら学校行事等のあり方を考え、意見表明と運営参加の機会を設定するよう配慮。

高齢者の外出支援について

- 問 ①「風ぐるま」の車体大型化によるルート変更等で外出が困難になる人もいる。小型車も併用しては②歩行困難な高齢者にタクシー助成を行っては。
- 管 ①②現時点では考えていない。

小枝 すみ子 (声)

地域コミュニティ活動支援強化

- 問 地域活動団体の登録手続きを一元 化し、相互交流を促すため、区HP等で 検索ができるようにしては。
- 答 各団体が持つHPを区HP上で集約 することも含めて検討していく。

軽井沢少年自然の家廃止見直し

- ・ 廃止を前提とした予算措置をやめ、 改めて文化とコミュニティの活性化を図るための施設として位置付けるべき。
- * 施設設備や地理的な制約で利用が 少ない。課題は多いが適切に対応する。



メレーズ軽井沢

牛尾 耕二郎 (共産)

認可保育園、公園の整備を

- 問 ①誰もが希望する保育園に行ける ことを目標にした整備計画を②神田地 域に子どもが遊べる公園の新設を。
- ⑤ ①多様なニーズに応えられるよう、 保育環境整備に取り組む②淡路公園の 拡大等、民間の開発事業に合わせて広 場空間の確保に取り組んできた。引き 続きオープンスペースの確保に努める。

学びへの経済負担の軽減を

- 問 ①高校では就学援助が受けられないが、負担増で進学を諦めることがあってはならない。区の認識は②奨学金は貸与型のものが多い。負担軽減のため、区独自の給付型奨学金制度の創設を。
- ⑤ ①経済的理由で進学できなくなる 事態は避けねばならない②国で給付型 制度を実施。区独自の創設はしない。

米田 かずや (公明)

障害者差別解消法について

- 問 読み書きが困難であることが社会 的障壁とならないよう、視覚障害者や 高齢者等への支援が必要。民間を交え て読み書き支援の講習会を実施し、積 極的に受講を推進すべき。

難聴者の補聴器活用について

- 間 補聴器の利用が難聴者の積極的な 外出や社会参加を促し、認知症リスク 低下につながると考える。普及促進の ため、補聴器の購入助成額の引き上げ と助成制度の周知徹底を求める。
- 圏 利用状況を分析し、制度の見直しを検討する。医療機関等とも協力し、幅広い周知に努める。

池田 とものり (自民)

「地方創生」への取り組み

- 10 ①地方と共存・共栄・連携を目指す事業について、区独自の施策は②人口増加の傾向にある千代田区で、出産、子育てを含め若い世代が住み続けられる取り組みは。
- 1 NPO等の民間団体との協働や 自治体間連携により防災、環境、商工 観光等の多分野で事業展開している。 今後、更に充実させると共に、効果的 な手法を検討②待機児童ゼロ対策や放 課後対策等の保育環境の整備、子ども の遊び場等の確保や子どもの安全確保 等の地域づくり、更に仕事と子育ての 両立支援等に取り組んでいく。





※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

山田 丈夫 (自民)

道路の整備について

- 間 ①全区道の電線類地中化率は28% と低水準、現状と整備方針は②歩道の バリアフリー化の整備方針は。
- ② ①地中化するためには、道路幅が 11m以上等の規定があり、該当する区 道の67%が完了。今後は、通学路や歩 道のバリアフリー化にあわせて整備② 歩道整備、歩道未設置路線、2.5m未満 の道路の拡幅等を優先して整備する。

ちよくるポートの設置について

- 問 主要駅への重点的設置も重要だ が、未設置地域の住民や在勤者等にも 配慮すべき。設置場所は、地域事情に 詳しい町会長等に相談してみては。
- | 警察との協議の結果、道路上の設 置が認められた。設置には、地域と相 談し、道路上の設置も視野に入れ配置。

たかざわ 秀行 (千代田)

客引き防止条例の成果と課題

- | 問|| 区は、多くの客引きが見られる地 区を重点地区と指定。町会と商店会が 主体で、区・警察と連携したパトロー ルを実施しているが、効果が上がらな い。また、重点地区以外でも客引きが 多い①重点地区では、条例違反者に対 し改善措置を命じ、従わない場合は、 事実を公表できる。公表の実績は②条 例施行から1年半が経過したが、成果と 課題は③罰則を厳しくしてはどうか。
- ⑤ ①改善措置命令を発した事例は無 く、公表実績も無い②条例主旨は区民 等の主体的かつ具体的な活動を区が支 援すること。町会、商店会等で構成す る2団体の活動があり、効果はあった。 課題は、効果がパトロール中のみに限 られ、実際には客引きが増加している ことである③現段階では罰則は考えて いないが、新たな対応を検討する。

林則行 (千代田)

今後の小中陸上の予定について

- 問 ①外濠公園開催の経緯は②夢の島 競技場等で実施するための来年度の予 算化の見込みは③平成32年度の新国 立競技場での開催の見込みは。
- 答 ①移動時間、予約や交通機関の状 況を勘案し決定②要求していない③経 費や運用面等、総合的に勘案し検討。

麹町保育園三番町仮園舎について

- | 問|| 人口推計では区立幼稚園・保育園 の定員が超過する①三番町仮園舎の活 用が重要だが、来年度の保育事業者が 選定できない状況になっている。その 原因は②来年度以降の活用の方向性は。
- ⑤ ①応募者が現れない原因の一つ は、仮設建築物で保育所としての認可 取得が出来ないことにある②保育園の 待機児童対策施設として活用する。

岩田 かずひと (維新ク)

AED運用での有資格者の配置

- 間 AEDの知識や技術は、緊急時に必 要。救命講習会の実施状況と教員や生 徒の講習修了者の人数は。
- 教育委員会に勤務する全職員を対 象に「普通救命講習」を毎年実施。教 職員の95%が講習修了。中学校では 授業でも実施。養護教諭、保健体育科 教諭には「上級救命講習」「応急手当 普及員講習」の受講修了者もいる。

授業での体育専門指導者の起用

- 問 授業内での事故防止のためにも、 体育の授業に専門指導者として高段者 等や有名アスリートを起用すべき。
- 答
 教員の専門性の向上は生徒の運動 技能の向上、重大事故の防止にも効果 がある。高段者等の外部指導員等を招 き、教員と連携して指導している。

岩佐 りょう子 (紡民)

公開空地等の活用と緑化の推進

- 間 ①緑化推進の課題と手法は②公開 空地を地域コミュニティ醸成の場とし て活用する仕組みを検討しては。
- | 答|| ①区が新たに緑地空間を確保する のは困難。民間開発時に創出される公 開空地が地域の緑地、公園となるよう 取り組む②整備の際、地域の参画機会 を作ることが有効。引き続き検討する。

選挙権年齢引き下げについて

- ①公職選挙法改正後、教育内容の 見直しは②生徒の政治活動は保障され るべき。制限されないよう配慮を。
- 答 ①選挙制度の周知・主権者教育の 両面で適切に取り組むよう指示②放課 後等、学校構外では一定範囲で容認。 教育活動の場が利用される場合は法に 基づく制限等が必要。

寺沢 文子 (紡民)

避難所防災訓練と運営協議会

- |問||①協議会に避難所運営を任せきり にせず、区が適切な指導や助言をすべ き②災害時の医師等専門家の確保は。
- 答 ①協議会への適切な助言や提案を 含め、支援態勢を強化②災害時の医療 は地域の枠を超えた広域的な対策が必 要。医師会、病院との協議を進める。

子どもの貧困について

- ①相談に応じる専門職の増員を② 関連部署間の迅速な連携を③食事、学 習、居場所等の地域の受け皿づくりを。
- | 答 ①相談員の増員、研修等で相談体| 制の充実を図る②自立支援相談事業を 中心に、学校、保健所、女性相談窓口 等と連携し、生活全般の支援を行う③ ボランティア等を活用し、子どもの学 習支援、家計相談支援等を追加実施。

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案11件(条例8件、契約2件、指定管理者1件)等を審査しました。 議案等の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は10ページをご覧ください。



企画総務委員会

議案5件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。 「千代田区住宅基本条例の一部を改正する条例」は、区民の住まいや住環境に求める機能及び役割の多様化に対応し、 地域特性に即した施策を総合的かつ計画的に展開していくため、条例を改正するものです。公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、議会としてもコミュニティを取り巻く諸問題を 注視している。今後も、住環境をめぐる地域のあり方を大き な課題と受け止め、引き続き十分に検討していくこと等が明 らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

本条例案は、中堅所得層への居住支援の根拠条文を削除し、 自己責任を強いるものになっている。更に開発協力金の見直 しで居住支援を後退させる一方で、企業を応援する条例になっ ていると言わざるを得ない。本来住まいは基本的人権であり、 社会経済情勢の変化で変わるものであってはならない。住ま いは人権という見地を大幅に後退させることから反対する。 (木村)

住民は増えているが、定住人口は減少している。問題意識が行政は薄すぎるのではないか。条例の前文から、「高額な地価の影響もあいまって居住することが困難な状況が現れ、定住人口の減少により、地域社会は崩壊の危機に直面している」を削除したこと等、「定住」「住み続ける」という思いが、極めて後退していると感じるため、反対する。 (小枝)

【賛成の意見】

本改正条例案は第3次住宅基本計画を速やかに実施するための根拠となるものである。家族構成やライフスタイルの多様化により、さまざまな目的をもって都心居住を選択し、それに対応する住宅の質や住環境の整備を求める方向性も時代に即したものだと思う。本区の地域特性に即した施策を総合的に展開することや住環境の整備では住宅の省エネルギー対策及び温度のバリアフリー化の推進を要望し、賛成する。(内田)

その他、「千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」、区立麹町保育園の新築工事に関する契約の一部変更2件、「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」を審査しました。

地域保健福祉委員会

議案5件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。 「千代田区旅館業法施行条例の一部を改正する条例」は、 現行の条例では明確に規定されていない衛生基準や構造設備 等の基準について規定整備することで、宿泊客や周辺住民の 安全と衛生水準の維持向上を図るものです。平成28年1月1 日から施行します。主な改正の内容として、客室に直接又は ダクトを通じて外気を供給すること、受動喫煙防止のため必 要な措置を講ずること、営業時間中は施設内に従業員を常駐 させること、共用部のトイレ、カプセルホテル等簡易宿所の 客室の区画を男女別とすること等が、新たな基準として条例 に明記されました。

〈審査経過〉

質疑の中で、区内で旅館業法の許可を受けている宿泊施設は79施設あり、そのうち簡易宿所は9施設であるが、改正後の条例に適合していない施設はないと思われること。改正後の条例は、施行日以後に申請を受理する者から適用するが、現状79施設で適合していないものがあった場合は、指導をしていくこと等が明らかになりました。

次に、「千代田万世会館の指定管理者の指定について」は、現行の指定管理者の指定期間が平成28年3月末で満了となるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、指定管理者を指定するために議会の議決に付するものです。指定管理者候補者は「株式会社日比谷花壇」で、指定期間は平成28年4月から平成33年3月までの5年間です。今回の選定にあたり2事業者から応募があり、2回の審査を実施し、財政基盤の安定性、他区等での指定管理実績、地域との関わりを深める政策提案内容等を総合的に勘案し、当該団体を指定管理者第1次候補者に決定したこと等の報告がありました。

〈審査経過〉

質疑の中で、日比谷花壇が指定管理者候補者だが、葬祭に使用する花については、日比谷花壇の専売ではなく、喪主が選定した事業者が調達することを協定書に明記すること。 利用料金は、条例で最高限度額を設定しているので、指定管理者が代わっても高くならないこと等が明らかになりました。

その他、「千代田区特別区税条例等の一部を改正する条例」、「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」、「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」を審査しました。

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

議案1件、陳情2件の審査経過は以下のとおりです。

「幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」は、特別区人事委員会の勧告を踏まえ、幼稚園教育職員の給与水準を改定するとともに、扶養手当について、国等との制度的均衡を図るものです。

給与月額は、平均0.35%の引き上げ改定を行うとともに、 扶養手当のうち、扶養親族である子等に係る手当の月額を 500円引き上げ、6,000円に改定するものです。公布の日か ら施行し、平成27年4月1日にさかのぼって適用します。

また、勤勉手当について、再任用以外の一般職員及び管理職員は、年間の支給月数を0.1月引き上げ、再任用職員は、0.05月引き上げます。いずれも公布の日から施行し、平成27年12月1日から適用します。

〈審査経過〉

質疑の中で、条例が改正されることにより、非常勤職員の 報酬の引き上げにもつながっていくことが明らかとなりました。

次に、「乳幼児人口の急増に対応した神田地区での早急な区立幼稚園の定員拡充等を求める陳情」は、審査の中で①千代田幼稚園と昌平幼稚園の平成28年度の3歳児について、短時間保育の部分を10名から15名に定員を拡充する②①の3歳児に該当する平成29年度の4歳児、平成30年度の5歳児についてもそれぞれ5名定員を拡充していくことが明らかとなりました。陳情項目のうち、残った課題については、委員会として引き続き議論していくこととして、審査を終了しました。

次に、「『軽井沢少年自然の家』『軽井沢メレーズ』の存続を求める陳情」は、審査の中で、メレーズについては平成28年度もこれまでどおり利用できるようにすることが明らかとなりました。この1年間は、施設全体の利活用方法について委員会で検討していくこととして、審査を終了しました。



神猿像(日枝神社)

特別委員会



サイン (統一感ある案内表示) 計画、シティプロモーションの推進に関わるアンケートの概要及び国際交流等の五輪教育について、区から報告がありました。今後、本区オリンピック・パラリンピック推進プロジェクトを基本に、成果を残せるよう進めていくことを確認しました。

公共施設整備特別委員会

新スポーツセンターの整備に関する陳情審査1件と高齢者施設の整備について報告がありました。陳情審査では、建て替え候補地を4か所に絞ることを確認するとともに、体育協会にスポーツセンターの機能について議論・整理していただくよう、執行機関を通じて申し入れることにしました。

マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会

ちよだマンション・カフェについて、これまでの実施状況や課題及び今後の方向性について報告がありました。委員からは、今後、参加者が運営する側として参画する等、発展していくことが理想ではないか等の意見がありました。その他、岩本町一丁目町会の「岩一ふれあい広場」の取り組み等について報告がありました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

これまでの本区議会での議会改革の主な取り組みの報告 後、前定例会等で開催した勉強会での講義について、意見交 換を行いました。その中で、先進的な議会改革の取り組み、 議会の権限の自覚、議決権の拡大、議員間討議の必要性、 区政報告会の実施等の意見がありました。今後は、これらを 踏まえ、共通する調査事項を確認した上で、議論することに しました。

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会

委員会としては、子どもたちのために一日も早くより良い 環境整備が図られるよう、現地建て替えの可能性を優先して 集中的に議論することとしました。今までの経過と課題につい て区から報告を受け、現地を視察調査することを確認しました。

今定例区議会で可決した意見書(要旨)

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求め る意見書

我が国の景気は緩やかな回復基調が続いていると言われる中で、地域経済の担い手である区内の中小企業や小規模事業者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

また、千代田区における固定資産の評価額は、上昇傾向が顕著で、非常に高い水準が続き、固定資産税の過重な負担が、区民の定住や事業継続の大きな障害となっております。

よって、千代田区議会は、東京都に対し、納税者が納得できる税額となるよう、国に対し固定資産税の大幅減税措置を強く働きかけるよう求めるとともに、来年度以降も、「小規模非住宅用地に係る固定資産税・都市計画税」2割減免、「小規模住宅用地に係る都市計画税」及び「負担水準が65%を超える商業地等の固定資産税・都市計画税」の軽減措置を継続されますよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 東京都知事



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の3件の議員提出議案を採決するに あたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

地方自治の尊重と辺野古新基地に関する意見書 【反対の意見】

基地移設は外交、防衛上の問題であり、国益を守るため、 国が責任をもって判断し、実行するべきものである。埋め立 て承認取り消しに対する政府の執行停止の申し立て、承認取 り消し撤回の代執行を求める行政訴訟は、当然の対応と考え る。よって本意見書に反対する。 (永田)

埋め立て承認取り消しは、普天間基地周辺の危険性の固定 化につながり、我が国の安全保障上も極めて深刻な状況となる。政府は、国民の安全を第一に考えるとともに、最終判断 は司法に求めていることから、決して地方自治を軽視するもの ではない。よって本意見書に反対する。 (米田)

【賛成の意見】

沖縄県が認めていないにもかかわらず、国が上から強引に推し進めている新基地建設には怒りを覚える。また、辺野古沖には希少動物であるジュゴンをはじめ、262種もの絶滅危惧種が生息しており、自然保護の観点からも建設すべきでない。よって本意見書に賛成する。 (岩田)

沖縄も同じ日本であるにもかかわらず、沖縄にのみ基地負担を押し付けているが故に、基地がすぐそこにあるという現実を直視することなく、今に至っている。もし仮に、本当に米軍基地が必要であるならば、日本全体で引き受ける覚悟を持つべきと考える。よって本意見書に賛成する。 (小枝)

県民の意思は選挙結果で明確。しかも「埋立法」に瑕疵もある。代執行は民意を押さえつける行為であり、地方自治の侵害そのものである。民主主義と地方自治の本旨に基づき、沖縄県民の意思を受け止め、新基地建設計画を速やかに撤廃することを安倍内閣に強く求め、本意見書に賛成する。(飯島)

2. 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

【反対の意見】

公的年金の保険料を原資とする年金積立金は、安全かつ効率的に運用されなければならないが、少子高齢化の進行等による保険料負担の急増や給付水準の低下を避けるためには、年金積立金を複数の資産に分散投資して運用することが適切で、効果的である。よって本意見書に反対する。 (池田)

【賛成の意見】

年金財政を安定させるためには、労働者の雇用や中小企業の経営を安定させ、支え手を増やすことが求められている。 高齢者を支える公的年金を削減する一方、保険料を元手とした株式運用を拡大させることは、安全で効率的な年金運用のあり方とかけ離れているため、本意見書に賛成する。 (牛尾)

3. 千代田区特別職報酬等審議会特定委員の監査請求に関する決議

【反対の意見】

第1の理由は、委員選定の方法、報酬の支払いについて、 現状の条例以外に細かい規定はなく、現在の条例に基づく裁 量権の逸脱や乱用であるとはいえないこと。第2の理由は、議 員報酬を審議する第三者機関の委員に対して議会が調査権を 行使することには慎重であるべきことから反対する。 (大串)

委員報酬及び費用弁償については、千代田区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例により、規定されている。指摘された委員の報酬、費用弁償についても条例の規定の範囲内で支給されている。よって千代田区特別職報酬等審議会特定委員の監査請求に関する決議に反対する。 (大坂)

【賛成の意見】

特別職報酬等審議会条例では、審議会は、区の区域内の公共的団体等の代表者その他住民のうちから区長が委嘱するとあるが、条例にあてはまらない委員に委嘱している。報酬額も担当課長の一存で決められており、極めて曖昧で、違法又は不当な公金支出である。よって決議に賛成する。 (小林た)

区民でない委員が参加できることについて、条例に明確な 基準がない。航空運賃の支払規定も条例になく、航空運賃の 必要な委員の委嘱は想定外。附属機関の代表者間で報酬額が 相違すること。また、特定委員に委嘱した経緯も明確でない。 以上により、決議に賛成する。 (たかざわ)

借上型区民住宅を存続し、中堅所得層が住み続けられるように住宅施策の充実を求める請願

委員会で取り扱った請願・陳情(平成27年11月12日~平成27年12月25日)※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。						
送付委員会 ()は参考送付	審查状況 (平成27年12月25日現在)					
子育て文教委員会	審査終了					
公共施設整備特別委員会	審査終了					
子育て文教委員会	審査終了					
(地域保健福祉委員会)	審査終了					
地域保健福祉委員会	審査終了					
	送付委員会 () は参考送付 子育て文教委員会 公共施設整備特別委員会 子育て文教委員会 (地域保健福祉委員会)					

全国からの視察

地域特性を踏まえた、独自性・独創性のある本区の施策や、議会改革に取り組む本区議会の活動を調査するため、全国から多くの議員の方々等が視察に訪れています。

平成27年1月~12月においては、図書館、次世代育成支援事業、議場設備、議会運営等の取り組みについて、52件の視察がありました。

10月~11月の主な活動

月/日	日 程
10 / 23	議会運営委員会
26	地域保健福祉委員会・国内行政調査【かがやきプラザ等】
30	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会
	企画総務委員会
11 / 9	地域保健福祉委員会
	子育て文教委員会
	〈平成27年第4回千代田区議会定例会告示日〉
11	議会運営委員会
	公共施設整備特別委員会・国内行政調査【小川広場等】
17	議会運営委員会
17	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会



継続審査

平成27年の議会活動から

請願・陳情

(1)	請願受付		取圾件数
(1 /	前侧又门	•	4人1人1人1人

受付件数	採 択	不採択	継続審査	審議未了	取り下げ	取り扱い 未定等
2	0	0	1	0	1	0
※件数には、平成26年から審査していた1件を含みます。						

(2) 陳情受付・取扱件数

受付件数	委員会 に送付	参考送付	審査にな じまない	取り下げ	取り扱い 未定等
20	12	6	0	1	1

(3) 送付陳情の審査内容等

	委員会に送付された陳情の審査内容						
合 計	陳情の趣旨 に添った取 扱いをすべき	陳情の趣 旨に添い がたい	今後とも 調査して いく	その他	取り扱い 未定等	取り下げ	
12	8(2)	2	0	2	0	0	

st () 内は陳情の趣旨に基づき、意見書を提出した件数です。 st その他 2 件は要望書を提出した件数です。

本会議別議決件数

項目 定例会	区長 提出議案	委員会 提出議案	議員 提出議案	報告
第1回定例区議会 (2月)	34	2	1	3
第1回臨時区議会 (5月)	2	0	5	1
第2回定例区議会 (6月)	8	0	3	2
第3回定例区議会 (9月)	11	2	4	1
第4回定例区議会 (11月)	11	1	3	2
合 計	66	5	16	9

千代田区議会情報公開制度実施状況

企画総務委員会

(1)請求種類別請求件数

※情報提供請求とは、会議録や委員会の記録等の閲覧等を請求したものです。

			請求	内容	
	請求件数	本会議関係	委員会関係	政務活動費 関係	その他
公文書開示請求	3	0	0	1	2
情報提供請求	11	0	0	11	0
≣†	14	0	0	12	2

(2) 個人、法人別公文書開示請求・情報提供請求件数及び住所又は所在地内訳

		住所又は所在地				
		千代田区内	都 内 (千代田区内を除く)	都外	国 外	合 計
	個人	1	0	1	0	2
公文書開示請求	法人等団体	1	0	0	0	1
	計	2	0	1	0	3
	個人	6	0	0	0	6
情報提供請求	法人等団体	2	3	0	0	5
	計	8	3	0	0	11

(3) 公文書開示請求及び情報提供請求方法別請求者数内訳

	来庁	郵送	ファクシミリ	電子メール	合 計
公文書開示請求	2	0	1	0	3
情報提供請求	11	0	0	0	11

(4) 開示等の処理状況内訳

, , , , ,		•			
開示	一部開示	非開示	不存在	合 計	
0	4	0	0	4	
※件数には、平成26年に開示請求された1件を含みます。					

可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対 議案の審議結果等(平成27年第4回定例区議会) 欠…欠席/退…退席/除…除斥 6 8 9 10 12 13 14 15 16 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 3 5 等 名 員 米大池 岩 秋 岩 寺 大 山飯 牛 嶋 木 戸 内 は <u> 기</u>니 기\ 永 ゃ 出投賛反議 ざわ 議 \blacksquare 谷 佐 沢 串 \blacksquare 坂田 \blacksquare 島 尾 村 枝 林 張 \blacksquare \blacksquare 崎 お 合 本 林 席 決 決 た こうき 文 か 隆 和 す 孝 秀 恭 則良 ゃ 票 丈 耕 正 壮 直 秀 佳 者 月 結 かや ずや み 子 次 名 等 案 子 郎 洋 夫 明 郎 彦 行 郎 お 数 成対果 数 В 千 維 維 紡 紡公 公 自自 É 共共 共 自自自 自 自 白 代 代代 代 新 新 声声 ク ク 民民明明 民民 民 産 産 産 民民民民 \blacksquare 民民民 委員会 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める 25 24 24 0 可 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 12/8 提出議案意見書 議 地方自治の尊重と辺野古新基地建設に関する意見書 25 24 8 16 否 0 \bigcirc 12/8 \bigcirc X 0 X × C \bigcirc \bigcirc 0 X 員年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確 \bigcirc 0 0 25 24 9 15 否 0 \bigcirc \times \bigcirc \bigcirc \bigcirc \times X X × X \bigcirc X X X X 12/8 長 提出議案実な運用に関する意見書 千代田区特別職報酬等審議会特定委員の監査請求に関 25 24 11 13 否 \bigcirc 0 0 \bigcirc \times × \times \times X \times \times 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \times \times \bigcirc \bigcirc \bigcirc \times 12/8 は する決議 千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関 25 24 5 \bigcirc 0 19 可 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc X \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 X X 0 X \bigcirc \bigcirc 12/8 採 千代田区特別区税条例等の一部を改正する条例 24 0 可 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 12/8 25 24 \bigcirc 0 決 0 可 0 0 0 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 千代田区旅館業法施行条例の一部を改正する条例 25 24 24 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 12/8 可 0 0 0 \subset 0 0 0 25 24 24 0 \bigcirc \bigcirc 0 0 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc 0 12/8 千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例 加 千代田区介護保険条例の一部を改正する条例 0 0 \bigcirc \bigcirc 25 24 24 0 可 0 \bigcirc 12/8 わ 25 24 19 5 0 \bigcirc \bigcirc 千代田区住宅基本条例の一部を改正する条例 可 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \times \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 12/8 X × X X 提出議案 0 可 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 区立麹町保育園新築工事請負契約の一部変更について 25 24 24 \bigcirc \bigcirc Ŋ 0 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc 0 12/8 区立麹町保育園新築給排水・空調設備工事請負契約の 25 24 24 0 可 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 12/8 -部変更について ま 千代田万世会館の指定管理者の指定について 25 24 24 0 可 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 12/8 せ \bigcirc \bigcirc 0 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 25 24 24 0 可 \bigcirc 0 12/8 h 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する 25 24 24 0 0 0 可 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc 0 12/8 (仮称) 区営東松下町住宅新築給排水・空調設備工事請 11/27 負契約の一部を専決処分により変更した件について 報 (仮称) 区営東松下町住宅新築電気設備工事請負契約の 11/27 -部を専決処分により変更した件について

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

平成27年第4回定例区議会 会期日程〈会期21日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程		
11 / 18	議会運営委員会		公共施設整備特別委員会		
11/10	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等) 12/	12 / 2	議会のあり方に関する調査特別委員会		
19	議会運営委員会		お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会		
00	議会運営委員会				
26	本会議(代表質問・一般質問)	3	議会運営委員会		
27	議会運営委員会		企画総務委員会		
21	本会議(一般質問・議案の付託等)	4	地域保健福祉委員会		
	企画総務委員会		子育て文教委員会		
30	地域保健福祉委員会	7			
	子育て文教委員会	/	議会運営委員会		
10 / 1	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会	Ω	議会運営委員会		
12 / 1	マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会		本会議(議案の議決等)		



■区議会だより編集委員会の構成

委員長 小林やすお(自民) 副委員長 河合良郎(千代田) 委 員 永田壮一(自民) 池田とものり(自民) 牛尾耕二郎(共産)

池田とものり(自民) 牛尾耕二郎(共産) 米田かずや(公明) 小林たかや(声) 岩佐りょう子(紡民) 秋谷こうき(維新ク)



委員会の記録は、区議会ホームページや区役所7階の区議会事務局でご覧になれます。